

尚 和 会 会 報

2006
平成18年5月1日

思い出とともに広がる同窓の輪



尚和会総会のごあんない

平成18年5月21日(日) 受付11:30~

ホテルアイボリーにて (豊中駅東口すぐ ☎ 06-6849-1111)

- 総 会 オークッドホール 12:00~12:30
- 立食パーティー オークッドホール 12:45~15:00
- アトラクション かつうかなこ
- ビンゴゲーム
- 会 費 4,000円 (2002年以降の卒業生2,000円)

かつうかなこプロフィール

4歳からアコーディオンをはじめる。17歳で全日本アコーディオンコンクール総合優勝。高校卒業後すぐにフランスに渡り、パリ市立音楽院、CNIMA国際アコーディオン学院入学。世界的プレイヤーの指導を受け、在学中には全仏コンクールでも第1位を獲得する。

卒業後、沢田研二・藤山直美の音楽劇で共演。全国のホールでのコンサート、病院や小学校、また旧建築や酒蔵、民家などの歴史的な建造物でのアコーディオンの響きも大切に活動している。

また、2002年10月FMCO・CO・LOの特別番組、「地球音楽家2002」では、「かつうかなこのフランスアコーディオン修行」と題してシャルル・ガリアーノやクレモンティーズとのセッションを行なうなど5夜連続6時間の番組を担当。

2003年1月ファーストアルバム「Le ciel ~空~」を、2004年7月にはセカンドアルバム「ひだまり」をリリース。

“世界の車窓から”など、多くのテレビ番組で数多く取り上げられ、番組プロデューサーの中でも話題となる。また、NTTドコモのラジオCMにも楽曲を提供。

ホールコンサートを中心に活動を広げ、奄美の島唄第一人者、朝霧都恵のゲストサポート、イアン&キャレン(England)をはじめ、アレ・メッレル(Sweden)、ヨハンナ・ユホラ(Finland)をはじめ、海外アーティストとの共演など新しい分野にも活動を広げている。



Contents

| | |
|---------------|---------|
| 尚和会会長・校長ごあいさつ | —— (2) |
| 学校だより | —— (3) |
| 母校クラブだより | —— (4) |
| 教職員人事異動・各期連絡先 | —— (6) |
| 新役員紹介 | —— (7) |
| 尚和会決算・予算報告 | —— (7) |
| 尚和会通信 | —— (8) |
| 同期会報告 | —— (9) |
| 同期会予告 | —— (12) |
| お便りから | —— (14) |
| 物故者芳名簿 | —— (15) |
| 平成17年度会報代・協力金 | —— (16) |
| 平成17年度総会・懇親会 | —— (18) |

発行——尚和会

寄稿作者 田中 渡

編集責任者 大島 光昭

挨拶



尚和会会長
田中 渡

新緑の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は尚和会活動に格別のご協力を賜り篤くお礼申し上げます。

バブル崩壊後の長い不況から少しばかり回復の兆しが見え始めた昨今ですが、一方では年金問題や二〇〇七年課題など社会をとりまく環境は一段と厳しさを増していると思われま

そのような中、母校は来年初立七十周年を迎え、記念式典のあり方について学校、PTA、定時制振興会等とこれから協議していく予定です。明朗、敬虔、奉仕の校訓を受け継いだ伝統ある桜塚高等学校にふさわしい格式を持った式典と事業が催されることを願い、尚和会としても七十周年記念事業実行委員会を立ち上げ、皆様とともにその慶びを分かち合えるようご指導とご協力をお願いいたします。

又、昨年より期限付きではありませんがホームページの作成に取り組み、今年度は具体的な活動をめざしています。老若男女三万二〇〇〇有余の会員の親交と情報交換が尚和会活動の発展と活性化に不可欠と思われま

近年、個人情報保護法の制定にもない名簿の発行と管理が難しくなり、様々な課題が与えられ、その維持に新たな経費が求められています。役員一同一致団結をして事業に取り組みますが皆様方のご協力とご鞭撻を重ね

てお願い申し上げます。

進化し発展を続ける桜塚



桜塚高校校長
西郷 正人

今春も我が伝統の学舎「桜塚」を全日制三百七十七名、定時制四十八名合計三百六十五名の若人たちが元気に、しかも確かな進路実績を残して巣立ってゆきました。そして新たな後輩たちを全日制三百二十名、定時制九十二名が瞳を輝かせて「桜」の門をくぐって参りました。いずれの場におきましても大先輩高女第一期生の越水ユリ様には矍鑠たるお姿を持って、又田中尚和会会長様には常に温かく見守って頂いておりますことに、後輩たちは勿論のこと、我々教職員にとりましても大きな力付けとなっております。いつもながら尚和会会員の皆様方の熱いご支援には感謝致しております。誠にありがとうございます。

本平成十八年度は桜塚高校にとりまして二つの大きな意味合いを持つ一年となります。その一つは、来年度に本校が創立七十周年を迎えることです。平成十七年十二月に田中会長様を委員長として第一回準備委員会を持ち、「記念誌の制作準備・開始」と「実行委員会立ち上げ」を決めて頂き、五月の尚和会総会には「桜塚高校創立七十周年記念事業実行委員会」として進捗報告が出来ますよう準備を進めております。

もう一つは、来年度から大阪の普

通科の通学区域が昭和四十八年以來の九学区編成から、四学区編成へと大規模化します。桜塚でいいますと従来の第一学区と第二学区が合わさった様子です。本校でも第一弾として昨冬に第二学区の中学校に桜塚の事を知って貰うべく、生徒の活動を中心とした映像CDと学校案内パンフレットを送らせて頂きました。桜塚が誇る「学校文化」と「子どもたちの元気な姿」を先ずは正しく理解して頂くことが大切だと考

えています。併せて、今桜塚の門をたく生徒たちが、桜塚を誇りとする「自主・自立性の育みの中、勉学・部活動等の両立探究！」の頑張りに加えて、早くから自己に目を向けることや学外に目を向けることを志向する取組みを学校として模索し始めております。

地域に愛され、支えられている桜塚高校を今後とも、より進化し発展を続ける桜塚とするべく生徒はもとより私も教職員も明るく元気に励みたいと思ひます。今後ともいっそうのご指導ご支援をお願い申し上げます。

新しくなった定時制

定時制教頭

杉本 英世

本年度も引き続き、定時制課程の教頭としてお世話になります杉本です。どうぞよろしくお願ひいたします。尚和会の皆様には日頃から定時制課程の教育活動にご理解とご協力を賜り深く感謝いたしております。また、各行事等におきまして多数のご参加を

もらい、また格別のご指導ご鞭撻をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昭和二十三年の創立以來、豊能地区唯一の定時制高校として長い歴史を持つ本課程におきまして、昨年度大きな改編がありましたのは皆様ご存知のことと思ひます。

平成十七年度入学生より、普通科単位制の高校となり、前期・後期の二学期制を実施しました。また0時限授業・土曜講座そしてデリバリー給食と新しい試みも始まりました。最初はとまどいながらも手探りで進めながら、二年目をむかえるにあたり、生徒達の中にだんだんと浸透し、ようやく定着しつつあるようです。

また、本年度より、類型選択科目も開講されることとなり、新しい桜塚の特色として生徒の可能性を引き出し、より良い教育の場となるよう、職員一同さらなる努力をしまいたいと考えております。

昨年度は部活動でバドミントン部・剣道部・囲碁将棋部が全国大会に連続出場したのをはじめ、定通教育研究会発表の部では奨励賞をいただくなど教科授業以外の場面でも生徒達の活躍が目立ちました。

本年も四十八名の生徒が尚和会の



会員に加えていただくこととなりました。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



全日制第58回卒業式



定時制第56回卒業式

学校だより

進路状況報告

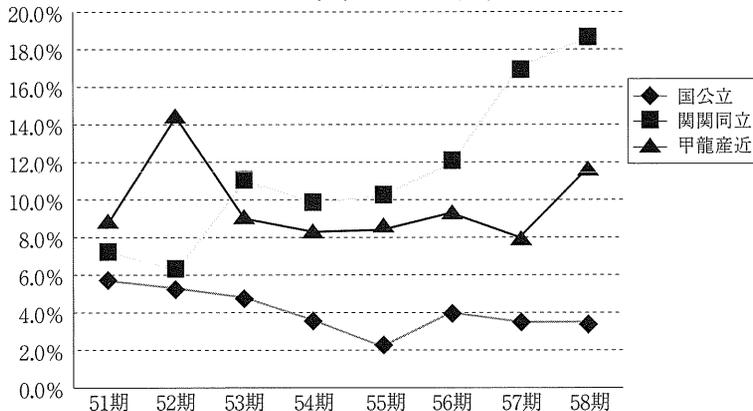
進路指導部長 松井 常喜

本年度は新課程による初めての入試でした。センター試験での英語リスニングテストの導入・薬学部が六年制になるなどいろいろな変化はありましたが、新課程による学力低下が懸念される現役生が希望する進路を実現できるか大変不安でした。しかし、予想に反して、現役生・浪人生とも、昨年を上まわる結果を残してくれました。

今年の卒業生五十八期生(三二七人)の進路状況ですが、四年制大学へは全体の五九%が進学しました。これは昨年と比べ五%増加しました。これにともない、浪人は一七%と初めて二〇%を切りました。個々の大学をみますと、関大・甲南大の合格者数・進学者数とも大きく増加し、過去最大の数になりました。特に関大の合格者数は現浪あわせて初めて一〇〇名を超えました。進学者もグラフが示す通りすべて増加傾向にあります。大学名だけでは判断できませんが、進学実績は着実に向上しています。真面目に最後まで努力した生徒で成功した場合が多く、在校生のはげみにもなると思われま

す。次年度から高校の学区再編成が実施されます。今までとは違った地域の違った層の生徒が入学してくるかもしれません。一年生の時から将来を考えさせる進路指導を実施していきたいと考えます。

現役生の進学率



二〇〇六年度入試合格者数(浪人含む)

| 国公立大学 | 主な私立大学 | 人数 |
|----------|---------|-----|
| 大阪教育大学 | 関西大学 | 109 |
| 大阪外国語大学 | 関西学院大学 | 30 |
| 大阪府立大学 | 同志社大学 | 21 |
| 大分県立大学 | 立命館大学 | 20 |
| 神戸大学 | 甲南大学 | 54 |
| 兵庫県立大学 | 龍谷大学 | 45 |
| 京都工芸繊維大学 | 京都産業大学 | 5 |
| 京都府立大学 | 近畿大学 | 85 |
| 奈良教育大学 | 武庫川女子大学 | 27 |
| 北海道大学 | 追手門学院大学 | 15 |
| 北見工業大学 | 佛教大学 | 15 |
| 徳島大学 | 関西外国語大学 | 14 |
| 広島大学 | 大阪工業大学 | 10 |
| 山口大学 | 京都外国語大学 | 9 |
| 北九州市立大学 | 桃山学院大学 | 9 |

終わり、始まる

五十八期生を卒業させて

高校五十八期生学年主任 村尾 亮

寒い中にも春の気配を感じさせる二月末日、三一七名の五十八期生は無事卒業式を迎え、新たな進路へと希望をもって旅立ちました。この三年間、彼らをさまざまな形で支えてくださった保護者・教職員・同窓会のみならず、深く感謝いたします。

三年前の四月、桜塚高校に入学して来た彼らを迎えるにあたって、われわれ五十八期生の担任団は「楽しく充実した高校生活」を送ってもらいたいと思いました。それには日々の学習活動はもちろんのこと、学校行事やクラブ活動にも積極的に参加し、個々の生徒がさまざまな場面で「居場所」を見つけてもらいたいということでした。この期待に生徒たちは良く応えてくれたと思います。一年次の文化祭におけるクラス演劇や合唱コンクールの際の高さには感動しました。二年次の修学旅行(八重山諸島)では「節度ある元気さ」を発揮し、カヌーやダイビングなどさまざまな体験学習を楽しみ、三年次では自己の将来設計を踏まえて、しっかりと準備しチャレンジしてくれました。私たち担任団にとっても、すばらしい生徒たちに助けられた楽しい三年間だったと思います。

私事ではありますが、私はこの五十八期の卒業とともに十四年間お世話になった桜塚高校から転勤いたしました。その予感に彼らの入学した時からあり、私もこの五十八期生とともに一回かぎりの、繰り返しのかかない三年間を送るのだと思っていました。教師は

「土曜開放講座」のご案内

桜塚高等学校定時制課程では、平成18年度も府民の方も対象にした「土曜開放講座」を開講します。平成17年度に引き続き、「日本文化研究」では笑福亭仁勇氏(笑福亭仁鶴門下)を講師に招き、隔週土曜日(4月~7月、9月~1月まで、年間15回程度予定)午後1時半より本校で開講します。

「日本文化研究」
講師：笑福亭仁勇氏
(高29期 本名山澤健二)



■講義内容

落語を中心に古典、大衆芸能にふれ、上方文化一般について学ぶ講義です。

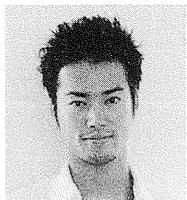
■講師からメッセージ

- 誕生当時から日本語と親しみ、五歳には確実に会得する。
- 18歳で師匠の門をたたき芸名を取得。落語とは深く親しんでいるが、未だ会得していない。
- 各種講演会の講師も引き受け、高校の非常勤講師で「上方文化・芸能」の授業も受け持つ。
- 地域の文化活動にも参加し、全国各地の「まち興し・活性化」にも関わっている。

■お問い合わせは

定時制課程の教頭まで 電話06-6853-2244

俺の原点は桜塚だ!



桐谷 健太
1980年2月4日生まれ
50期生 O型 180cm
九龍で会いましょう
(テレビ)でデビュー
(代表作品)
・ゲロッパ(映画)(2004)
・パッチギ(映画)(2005)
・タイガー&ドラゴン
(テレビ)(2005)

桜塚に入れば、女の子が弁当を作ってくれるという友人の言葉で進学を決めたが、作ってもらったことは一度も無く、後にデマだとわかった。でも高校時代は、本当に楽しくて幸せだった。色でたとえようとやっぱり桜色。眠たい授業中に窓から入ってくる心地よい風を受けながら、こんな瞬間は、今しかないんだろうなと感じるほど満ち足りていた。ここで高校生活を思いっきり楽しんでいこうと思った。役者の道へ進めたいと思

生懸命応援してくれた。先生に対して生意気だったけど、敬意を払うときは、ちゃんと払っていた。今の子はおとなしいと思う。小学生からの夢である芸能界に入るため東京に行くことを決意したが、親に大学へ行かないと許さないといわれ、東京の大学へ進学した。大学の先輩の知り合いに紹介してもらってモデル事務所に入ったのが、この世界に入るきっかけになった。芸能界に入ってからもう目にあって挫折しそうなったときも精神的に参った時も桜塚の友人がずっとそばにいてくれた。彼らと親のお陰で立ち直れたと思う。今、俳優で頑張っているが、まだ夢は叶っていない。ハリウッドで成功してみたい。

後輩に言いたいことは、何かに迷った時、自分の思ったとおりにありのまま、ガンガン行ってほしい。いやな予感がする時も後

のことを考えず、行ってみよう。その予感には当たらないから。形のない自信でいいから、思いっきり何も考えず突き進んで欲しい。やらずに後悔するよりもやって後悔しよう。意外に大丈夫だから。

(ふれあい桜塚) F.A.会報第71号(平成17年12月22日)掲載

ついでさまざまな行事について「今年は失敗したから来年は改善しよう」などと考えてしまいますが、生徒にとつて来年はありません。一度限りの貴重な青春の日々を桜塚高校で送っているのです。私もこの三年間、生徒と同じ気持ちで繰り返しの毎日を送りました。桜塚高校で修学旅行や卒業式をやることはもう二度とないのです。

二年次の春の遠足で私は毎回「イチゴ狩り」に行っており、五十八期生でも同様でした。おいしそうにイチゴをほおばる生徒たちをみながら、私ももうこの楽しさは二度とない、来年繰り返すことはもうない、と感傷的になり「イチゴいちえ」を感しました。

ともあれ、終わりとは新たな始まりを意味します。桜塚高校から旅立つ五十八期生の新たな出発を祝福して、お礼の言葉にかえさせていただきました。どうもありがとうございました。

高校五十九期修学旅行日記

第二学年主任 山中 義範

五十九期生の北海道への修学旅行は、十月二十五日早朝の伊丹空港から始まった。色とりどりの服装、大きなカバンを持って集まってくる生徒たちを見てみると、これから始まる高校生活最大の行事への期待と興奮が伝わってくる。

修学旅行を想定した春の校外学習でのグループ京都市内見学と、何度も集まり旅行中の活動を決めてきた修学旅行委員の計画が実行に移される時が来た。

興奮からか、機内では立ち歩く生

徒や少し騒がしいものもいたが、飛行機は順調に新千歳空港に着陸、その後バスで札幌に向かう。最初の活動はグループでの市内散策だ。少し肌寒いが四時間の間グループ毎に思い思いに解散地のテレビ塔から、時計台、ラーメン横丁、北大などへと向かう。

見学終了後、バスで宿泊地のニセコ東山プリンスホテルへと移動。途中休憩した中山峠では雪が降り、やはり北海道の冬は早いと感心もし、明日も寒くなるのではないかと不安にもなった。

翌朝には、その不安も消し去ってくれる程よく晴れ、暖かかった。午前午後と学年を二班に分け、この旅行のメインであるラフティング（ゴムボートでの川下り）と各自の希望した体験学習を行った。ラフティングでは、川岸の景色や、山頂に昨日の雪を戴いた羊蹄山を眺めたり、別のボートと水の掛け合いをしたり、川に飛び込む者もいたり、インストラクターの指導の下大自然を満喫した。体験学習では乗馬やパークゴルフ、アイスクリーム作り、釣り、シルバークセサリー作り、ガラスリッツェン（ガラスの表面に絵や文字を刻む）などをした。

次の日は、クラス別にバスで登別、モレエ沼公園、白い恋人パーク、神仙沼、余市、洞爺湖方面へと見学に行き、夕刻次の宿泊地である定山溪ホテルに集合した。夕食後は生徒全員集まって、委員が計画したミスター・ミス桜塚や有志の漫才(?)などで楽しんだ。

最終日には、有名な小樽の運河で記念撮影をした後、グループで市内散策。やはり、寿司を食べに行くグルー



プがほとんどで、その後は土産物を買ったりと小雨が降ってはいしたが、北海道旅行の名残りを楽しんだ。

この旅行では、全員集めての注意や指示をするのではなく、生徒がしおりなどで確認したり、事前に希望、計画した体験学習や見学をするなど、当初から生徒の自律、自主性に任せようと計画したことを生徒はよく理解し、行動してくれました。高校生活のページを飾る、思い出深い修学旅行にできたのではないかと思います。

母校クラブだより

男子バスケットボール部

主将 笹部 洋司

バスケットボールを通じて僕は小中高校とバスケットボールをずっと続けてきました。その中で、人間として最も成長したのはこの桜塚高校の三年間です。バスケットボールはチームスポーツです。仲間と協力し、どんな大きな壁もひるまずに皆で一歩一歩超えてきました。

しかし、最初からチームの和があったわけではありません。ぶつかり合いやいがみ合いなどもありました。高校生ともなると、それぞれに自我を持つ人間達が集まるので、まとめるのも苦労します。しかし、毎日のように顔を合わせ、同じ夢を共有するうちに兄弟のように仲良くなりました。

悔しい試合も多々経験しました。目に涙を浮かべながら反省点などを話し合ったこともありました。あつという

間には過ぎ、引退試合の直前には目をつぶり今までやってきたことを皆で振り返りました。各自色々な思いを抱いて試合に挑みました。試合には負けてしまいましたが、最後まで皆の気持ちで切れることはありませんでした。僕の目には、仲間一人一人の勇姿が焼き付いています。

僕はこの大切な青春時代を満喫できたのは、これまで支えてくれた人達のお陰です。改めてお礼を言いたいと思います。休日まで付き添いをしてくれた先生方、指導者として僕達を導いてくれたコーチ、部員のためにしっかりと仕事をしてくれたマネージャー、支え続けてくれた仲間、クラブ活動を陰ながら支えてくれた両親、本当に感謝しています。「ありがとう」

女子バスケットボール部

顧問 高橋 俊行

女子バスケットボール部として、練習や試合で活動するだけでなく、最近チームとしての活動が認められ色々な方面で活躍しています。なみはや国体の公式オフィシャルから、東アジア競技大会のオフィシャル・戦評処理をチームとして依頼されて引き受け、活動してきました。また豊中市においては、中学生対象のバスケットボール講習会も一年間開き部員が中学生の指導にあたりました。先日は、ミニバスケットボールのチームの指導をして小学生と楽しく時間を過ごしました。卒業生も大学でクラブに入りプレーを続ける人、学校の先生になり指導をしている人、社会人を続けながら中学生を教えている人と、卒業してもバスケットボールに携わってくれている人が増え

ました。

チームとしても近畿大会出場をはじめ、大阪招待出場、新人戦八年連続中央大会進出、豊中市交歓大会優勝など結果を残し、個人も年度優秀選手に選ばれたり、団体最終選考会まで残るレベルの選手も増えました。最近ではケガに悩まされて苦しんでいる状態ですが、練習に多くの卒業生が参加してくれて活気のある練習をしています。これからバスケットボールを通して多くの事を得たいと思つて練習に励んでおります。

ラグビー部

マネージャー 花高 みずき

ラグビー部は、厳しいところもあるけど真面目でいつも部員とマネージャーのことを考えてくれている優しい顧問の渡辺先生の指導のもと、個性豊かにぎやかな十八人の部員、部員思いの四人のマネージャーで、毎日楽しく活動しています。

夏休みには八月の初めに合宿があつて、暑さと虫に負けずに練習に励む毎日です。

春と秋と冬には公式戦があります。公式戦はどの試合よりも気合いが入っていて、チームの雰囲気もピリッリしてきます。それでも全員がボールに集中していて、試合中の部員さんはいつもよりかっこよくみえます。

楽しい部活なんで、今からでも入部希望の人は見学にきて下さい。

夢の舞台、花園ラグビー競技場!!

陸上部

マネージャー 中田 千晴

私達は部員男子十一名、女子十名、

マネージャー四名で、毎日放課後練習しています。他校に比べると練習時間が少ない環境の中、その限られた時間内で、顧問の野村先生の指導のもと、効率の良い練習を行ってきました。

昨年度は四月からシーズンが始まり、五月には地区予選から半数以上の部員が中央大会に出場、惜しくも近畿大会には出場はなりませんでしたが、決して手の届かないものではないと実感できました。先輩方の引退後、八月の高校総体に向けて夏季合宿も行い、更に練習を重ねていきました。

十月には地区別秋季大会で、女子は総合三位というとても良い成績をおさめることができました。その後十一月、一月に高校駅伝がありました。男子はメンバー全員で、女子は短距離メンバーからの応援もあり最後までタスキをつなぐことができました。

そして春のシーズンに向けて練習に励みました。新三年生は六月に最後の公式戦を迎えます。それが近畿大会への最後のチャンスです。新三年生は最後のチャンスを無駄にしないように、新二年生はベストを尽くして、まずは近畿大会への切符を手にして欲しいと願っています。

個人競技だからこそ仲間との励まし合いを大事にして、少しでも自分を超えることを目標に、夢は大きく全国大会です。

水泳部

顧問 河野 太

個性豊かな五十九期生と真面目な六十期生が個々の目標に向けて日々厳しい練習に取り組んでいます。競泳は特に物理的要素を必要とする為、身体的

鍛錬においても常に「泳ぐ」ことを意識することが要求されます。それを通し、考える力を養い、速く泳ぐためには水の中でどの位置にいれば良いのか、腕や脚は胴体に対してどの位置にありどの方向で力を出せば良いのか、また力を出すタイミングなど複雑に組み込まれた歯車のような泳ぎのメカニズムを考え、実践していくことを目的としています。

また一度スタートをすれば水の中で信じられるのは己の実力のみという過酷な状況の中から困難に自分で立ち向かう力を養うことも目的としています。

このような精神的にも身体的にも厳しい水泳部ではありますが、シーズンを問わず卒業生が現役生を励ましに来てくれ、現役生も工夫を凝らし単調なトレーニングに刺激と楽しさを導入し活気ある部活動を行っております。また、冬場には温水プールにて他校との合同練習も行いました。今後も更なる進化を目指し、己の心、技、体のすべてを伸ばして快心の一泳を追い求めていきたいと思っています。

バドミントン部

主将 吉岡 昌美

今、バドミントン部は女子十三人、男子八人の計二十一人の部員がいます。体育館が使えるのは平日二回と休日の二回を合わせて四回で、体育館が使えない日は外練をしています。平日の練習時間はとても短く、他校のように時間には恵まれてはいませんが、皆が府大会という年に三回行われる大きな大会に向けて良い成績を残すために、毎日頑張つて部活に取り組んでい

ます。

部活内容としては、コーチに来て頂いているので、コーチに教えて頂いた事ややつておくよう言われた事を主なメニューとし、それをやり終えた後の残り時間を部長が考えたり、あるいは部員でミーティングを開き、何をしたらかなどを話し合つて、メニューを決めています。

部活全体の雰囲気としては、男女とも仲が良く、良い意味でのライバル心を胸に秘め、一人一人が頑張っているのだととても良い雰囲気です。

次の府大会で二年生は引退なので、それまでに二年生は自分の力を出し切る事を、一年生はまた新しく入部してくる人に伝統を伝える事を目標に頑張っています。

吹奏楽部

顧問 河村 光子

今年度は五月に定期演奏会を終えて三年生が引退したあと、中心となる二年生が十二名という少人数で不安なスタートでした。幸い一年生が二十名をこえて入部してくれましたが、初心者も多く体育祭の時にはまだ音も充分出ない部員もいる状態でハラハラさせられました。

そして夏のコンクール。指揮者のこと、練習の進め方など生徒達にとっても気の重いミーティングを重ねましたが、外部指導者に助けて頂きながら少しずつ力をつけていきました。コンクール直前の音の変わりようは見事なほど、部員全員の熱い思いが音になっていったと思います。

秋の文化祭の頃には、一年生も積極的に音楽を作っていくことができるよ

うになりました。

楽器の上達はやはり練習しかないのです、土、日の休みもなく吹き続けます。いくら好きなこととはいえよくあんなに吹いているなど思うこともあります。でも思い通りの音が出た時やアンサンブルが決まった時の喜び、仲間と共に音楽する楽しさが練習を支えているのでしょう。

今年もまた定期演奏会の準備を始め、時期になりました。協賛金のおかげ、パンフレッド作りなど毎年のことですがひとまわり大きくなった生徒達は音楽作りだけではなく、部の運営にも一生懸命と取り組んでいます。先輩方の温かい御支援にはいつも感謝しています。今後共どうぞよろしく願っています。



グラウンドより校舎を望む

平成18年度
評議員会及び理事会予定表

評議員会

- 第1回 H18年9月2日(土) 会費制 会場未定
- 第2回 H19年1月14日(日) 新年評議員会
会費制 会場未定
- 第3回 3月24日(土) 尚和会議室

理事会

- 第1回 H18年5月13日(土) 尚和会議室
- 第2回 9月2日(土) 会費制 会場未定
- 第3回 11月11日(土) 尚和会議室
- 第4回 H19年1月14日(日) 新年理事会
会費制 会場未定
- 第5回 3月24日(土) 尚和会議室

地(主) 中(村) 中(島) 松(本) 高(橋) 田(名) 岩(澤) 村(尾) 中(軒) 越(智) 退(谷) 早(川) 来(住) 重(松) 退(着)

【全日制課程】

WEB 版非公開

筒(軒) 馬(場) 退(着) 阪(本) 金(奥) 山(田) 池(本) 長(谷) 山(崎) 古(森) 藤(本) 植(松) 筒(軒) 退(着)

【定時制課程】

WEB 版非公開

WEB 版非公開

森(着) 本(着) 森(田) 磯(原) 浦(谷) 池(野) 宮(崎) 内(田) 大(崎) 着(楠) 井(中) 川(桑) 原(伊) 藤(三) 村(田) 中(早) 崎(着)

(本校全日制教頭)

WEB 版非公開

各 期 連 絡 先

| 期 | 氏 名 | 電 話 | 期 | 氏 名 | 電 話 | 期 | 氏 名 | 電 話 | 期 | 氏 名 | 電 話 |
|---|-----|-----|---|-----|-----|---|-----|-----|---|-----|-----|
|---|-----|-----|---|-----|-----|---|-----|-----|---|-----|-----|

WEB 版非公開

教職員人事異動(平成十八年度)

尚和会の思い出

高校十六期 秋山日東志

私が尚和会と関わりを持つようになったのは、昭和六十一年の暮れ頃からであり、卒業（昭和三十九年）後初めての同期会を開催するためクラス幹事として招集されたのがきっかけであった。

当時、私は不明者リストに名を連ねており、今回会計に就任した中務さんが住所を探し当て連絡をくれたものであった。当時の会長は高津会長であり、初めての男性会長であった。以後谷田会長、荻野会長を経て田中氏が会長に就任する四年前、会計監査を担当することになった。

二十年間尚和会に携わり、多くの先輩達といっしょに仕事をさせてもらったのは非常によい経験であったが、遂に、多くの後輩達といっしょに仕事をやる機会には恵まれなかった。若い期の人達の参加が非常に少ないのである。最近になって、若い人達が参加してくるよう「活性化委員会」が発足し、いろいろ検討がなされた結果、少しは効果が表れてきたようにも感じられるがまだまだ参加が少ないのが現状である。

財政面では会報有料制という窮余の一策を講じることが可能であったが、人的な面で窮余の一策はあり得ない。若い期の人達が参加してくれないことには組織として成り立たないものである。尚和会には引き続き努力をお願いしたいし、若い期の方に対しては是非、理事会等への参加をお願いしたい。将来、若い人達を中心になって運営してくれることを願うばかりである。

尚和会平成十八・十九年度 新役員紹介



会長 高十一期 田中 渡



副会長 定八期 田邊 昭夫



副会長 高十一期 田中 渡



副会長(総務担当) 高十一期 吉田 和久



副会長(広報担当) 高十五期 大畠 光昭



副会長(財務担当) 高十三期 細川 和彦



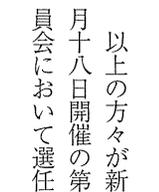
副会長(行事担当) 高十五期 上田 幸子



副会長(広報担当) 高十五期 大畠 光昭



副会長(財務担当) 高十三期 細川 和彦



会計 定十三期 中岸 澄江



会計監査 高十七期 上村 学



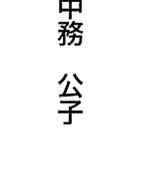
会計監査 高三期 中村千穂子



東京支部長 高十一期 斎藤 良和



東京支部長 高十一期 斎藤 良和



会計 高十六期 中務 公子

尚和会 平成17年度決算報告・18年度予算

[収支決算] (自:平成17年4月1日 至:平成18年3月31日) (単位:円)

Table with columns: 科目, 予算, 決算, 差引過不足, 備考, 18年度予算. Rows include income (入会金, 会報代, etc.) and expenses (事務費, 振込手数料, etc.)

[貸借対照表] (平成18年3月31日現在) (単位:円)

Table with columns: 借方, 貸方. Rows include cash (現金), general reserve (普通預金), etc.

以上、報告いたします。

平成18年3月31日

財務担当副会長(高13期) 細川初彦
会計(高12期) 久瀬恭子
会計(高12期) 吉田友徳

監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成18年3月31日

会計監査(定13期) 中岸澄江
会計監査(高16期) 秋山日東志

KIIP (廣濟堂国際インターンシッププログラム) について

Advertisement for KIIP program with bullet points: ●メルボルン社会研修コース, ●英語力を大幅に伸ばす! English+プログラム, ●本気で働く! インターンシッププログラム

お問い合わせ先 ●株式会社廣濟堂 国際インターンシップ事務局
TEL:06-4964-1771 FAX:06-4964-1773 E-mail: Intern@net.kosaido.co.jp

以上の方々为新役員として平成十八年三月十八日開催の第五回理事会、第二回評議員会において選任承認されました。

尚和会通信

広報担当副会長 大島 光昭

一、尚和会会報の無料配布

(卒業後五年毎)(再掲)

無料配布対象期

その期が、卒業後五年経過ごとに、住所判明者を対象として全員に送付する。

目的・理由

会報有料制は、約二万人にも及ぶ無料配布の結果財政が逼迫し、やむなく採られたものであります。これを機に多くの会員の方が危機を認識され、それ以降会報代・協力金が増加し毎年プラス収支に転じることができました。一方、会報代納入を一度忘れられる

とそれ以降会報が發送されなく、尚和会の先細りの懸念が生じはじめました。これを防ぐ手段の一つとして、財政の許す範囲という条件付きで平成十五年より実施中です(効果が無ければ、見直すこととなります)。

お願い

会報有料制は引き続き継続されますので、無料配布に当たる期の方も、会報代・協力金は引き続き宜しくお願いいたします。また、ちょうど各期が五周年単位に当たる年の五月に、その期に対し会報が無料で送付されますので、「同期会開催予告」として二月末までに会報の原稿を寄せていただければと思います。

二、「同期会開催支援奨励助成金制度」

(再掲)

一、目的

新生尚和会を構築し、創造的な事業活動を展開するために、同期会の活性化に取り組み必要がある。その意味で、同期会の開催を支援、奨励する目的の制度である。

二、助成金交付対象期

尚和会会員が同期会を計画、開催実施しようとするもので、その同期会が卒業五周年以降五周年単位で開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会が右記の周年でなくても助成金を交付する。

三、助成金の額

五〇、〇〇〇円とする。

四、申請の手續き

開催する同期会の代表幹事が書面(同期会助成金交付申請書)にて、尚和会会長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。

五、助成金の交付

「同期会助成金交付申請書」受理後速やかに同期会開催迄に支払う。平成十三年度九月一日施行

なお、同期会に対する助成は同じ期が同じ周年時期に複数の場所で開催されても、尚和会からの助成金交付は、その期に対して一回限りです。また、クラス単位での開催も対象外です。

三、在校生クラブ活動に報奨金制度

(再掲)

クラブ活動に顕著な成績を残したクラブに、活動費の一部を助成する制度です。助成対象は府下大会にて優勝またはそれに準ずるものとします。在校生諸君の活発な活動を期待します。

尚和会会報有料制について

財務担当副会長 細川 和彦

今お読みの尚和会会報は有料制です。

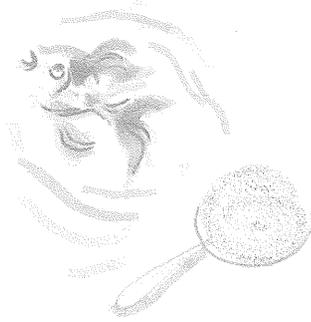
- 名称 会報代
- 年1000円 1,000円 (同封の払込用紙にてお振込み下さい) 払込用紙紛失の方は郵便口座番号 00930-3-31860 加入者名「尚和会」宛 お願いします。
- 会報無料発送対象者
 1. 旧職員 (住所判明者全員)
 2. 平成14年3月卒業生～平成18年3月卒業生 (全日制54期～58期、定時制52期～56期、定通併修2～6期)
 3. 高女1、6、高3、8、13、18、23、28、33、38、43、48、53、定6、11、16、21、26、31、36、41、46、51、卒業生住所判明者全員
- 会報発送者 会報代1,000円及び協力金納入者

個人情報保護対策について

尚和会では、会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしています。お預かりする個人情報は個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を厳守して以下の目的の範囲でのみ利用いたしますので、何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 利用の目的について
 - ①尚和会会報の発行・発送
 - ②各役員会開催案内等の告知文書の発送
 - ③尚和会が会の運営を遂行するにあたり、必要とする年会費徴収
 - ④その他、会の活性化を図るため、必要と思われる作業等合法的な目的のために活用する場合
- ご提供いただいた個人情報については、尚和会が責任を持って管理いたします。
- 尚和会は、ご提供いただいた個人情報を正確に処理いたします。
- 尚和会では、信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。
- ご提供頂いた内容は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。ただし、以下のような場合は、例外として情報を開示できるものとします。
 - ・法令の規定による場合
 - ・ご本人ならびに公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合。
- 個人情報は、原則として本人にかぎり、開示・訂正・削除を求めることができます。

お問合せ先
〒561-0881 豊中市中桜塚4-1-1
大阪府立桜塚高等学校内 尚和会事務局
TEL06-6853-2244/FAX06-6853-0825



| | 高女 1期~8期 | 併中 1期~2期 | 高 1期~58期 | 定 1期~56期 | 定通併修 1期~5期 | 旧職員 | 現職員 | 現職員 (定時制) | 合計 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-------|--------|--------------|--------|
| 会員数 | 2,061 | 229 | 26,337 | 4,239 | 76 | 734 | 33 | 18 | 33,727 |
| 物故者 | 380 | 18 | 656 | 90 | 0 | 151 | 0 | 0 | 1,295 |
| 住所不明者 | 241 | 31 | 6,020 | 2,112 | 10 | 192 | 0 | 0 | 8,606 |
| 住所判明者 | 1,440 | 180 | 19,661 | 2,037 | 66 | 391 | 33 | 18 | 23,826 |
| 判明率 | 88.3% | 86.5% | 77.1% | 50.1% | 86.8% | 73.8% | 100.0% | 100.0% | 74.4% |

尚和会会員数 (単位:人)

尚和会ホームページ開設に向けて

広報委員 高校二十八期 乾 憲隆

尚和会の公式ホームページ（HPと略します）を開設する事となりましたので、経緯を報告させて頂きます。

会報の無料配布による財政の逼迫から、平成十五年より会報を有料化した事で、財政はプラスに転じたものの、会報代の納入を忘れると会報は発送されず、会報を見る事が出来なくなり、尚和会への関心が薄れ、尚和会活動の先細りが懸念され始めました。

平成十六年七月、田中会長を囲んで十一期から五十三期までの幅広い世代の理事十数名により非公式ながら尚和会活性化委員会を立ち上げました。財政難に喘ぐ尚和会の現状を分析し、①協力金が集まらない。②魅力ある活動が出来ていない。③若い世代には関心がない。と言った事により「尚和会離れ」が起きていると結論しましたが、反面「同期会は頻繁に行われている」という現状も認識し「どの様にして、尚和会活動を知ってもらい、尚和会に興味を持ってもらうか？」という議論を重ね、HPによって尚和会の活性化が出来ないかと考えました。

HPは時代の流れです。広い世代、多くの会員に尚和会活動に参加してもらい、会報とも協調し幅広い尚和会活動を展開する事が会費収入の増加に繋がります。運営の安定化を図る事が出来るかと期待します。試行期間は三年間、様々な可能性にチャレンジします。

平成十七年三月の理事会に於いて広報委員会活性化部会（部長・十八期北川氏、副部長・十八期洪谷氏）の

設置を提案、三月二十六日の評議委員会に於いて承認されました。五月の総会決議を経て、九月三日の理事会にて大型プロジェクトを用いたプレゼンを行い、HP開設の意義、方針、事業予定を皆様方に承認頂き、作成作業を開始しました。

この会報発行時には試行版を開設しております。尚和会のHPアドレスは <http://shshowakai.com>です。

また随時更新情報をメールいたしましたのでHPから皆様のアドレスを登録下さい。

同期会報告

豊中高女一期生会 満八十歳通過記念

幹事（旧姓）矢野、富田、奥村
櫻谷、中出、岡島

日時：平成十七年三月二十四日
場所：ホテルアイポリ

三月二十四日嬉しい一日でした。桜は、まだ咲きかけの時季でしたが、皆様の肩先に八重桜が笑っておりました。お互いさまにどちらを向いても、よくぞまあ八十歳を生きてはる！

という不思議というか全員が全身で感じました？ 全人教育を受けたおかげでしょうか。感謝あるのみです。緑美しい高女期の校旗を見て感動したというお声にも、ただただ感謝いたしました。折角ご縁を頂いて八十歳過ぎまで生かされてきた私たちです。もう一寸がんばらないでがんばりましょう！来年の幹事さんよろしくね。



豊中高女二期生 傘寿の会

高女二期生 報告係

日時：平成十七年三月三十日（水）
場所：ホテルグランヴィア大阪
出席者：四十三名

桜の開花を待たれる快晴の日、二十階の見晴しの良い会場で開かれました。九州はじめ遠方からも、喜々として集われて、大正、昭和、平成と行き抜いた喜びを、分かち合う幸が満ちていました。

十一時半に写真撮影をし、お帰りの時には、お渡し出来ました。開会の辞、物故者への黙祷、傘寿の祝杯に始まり、美味しい会食となり、



豊中高女四期生会 六十周年同期会

幹事 田畑、長岡、岡田、山川
大久保、酒井

豊中高女四期生の卒業六十周年同期会は、五月二十三日、大阪万博の太陽の塔が見えるホテル阪急エクスポートに五十三名が集いました。

創立後もない昭和十五年、完成したばかりの美しい新校舎に入学した私たちは、翌十六年大東亜戦争の開戦、そして五年生では工場動員で鉛筆を鋸で持ち変えました。

戦況は悪化を辿り、昭和二十年三月から空襲は激化し、卒業式は無事出来たものの、一トン爆弾で家が吹っ飛び、焼夷弾の雨の中を逃げ惑う等、命からがらの目にあう人も……。この時代ならではの経験をした同期生は心がより固く結ばれました。

入学時は、満州への卒業旅行という事で積み立てをしたのも消え、アルバムも完成近くに空襲で焼け去り、終戦前の三月末、全員命無事に卒業したのが有難い事とふり返った卒業六十周年でした。

さまざまの苦勞を共にした旧友との語らいは一入なつかしく、二次会では幹事のフラダンスに笑い、中条さんのラテンミュージックに茨木さん（二人とも旧姓）のシャンソンで楽しみ、一同で歌を歌い、最後は敗戦後は歌わずに忘れかけていた校歌を高らかに合唱し、来年の再会を期して別れました。

十八年度は山中嘉子さん、大江悦子さん、永井徳子さんが幹事を引き受けて下さいました。今年八月に馬場恵美子さん（汲田

さん)、九月に佐野加子さん(伊藤和加子さん)が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



豊中高女五期生会 六十周年同期会

幹事一同

日時：平成十七年四月二十一日(木)
場所：リーガロイヤルホテル大阪

ダイヤモンドルーム

出席者：八十五名

春の名残りとして若葉の香り双方を感じられる四月下旬、たくさんの方にご参加頂き、盛大に会を行うことができました。

受付にお見えになる皆様様、にこやかに「ご無沙汰しております。」「あら、前回もお会いしたわよ。」「あら、こめんなさい。(笑)」などと、言葉を交わ

せば、すぐに旧友同士に戻りました。会が始まる前に別室にて記念撮影を致しました。とても喜寿にはみえないのではないのでしょうか?

宴の方は、お食事を頂きながら進み、テーブル毎に近況を語ったり、昔の思い出話に花が咲いたりと六十年前の乙女達のおしゃべりは、止まりませんでした。そんな中、広美さんが、みんなの前で、空襲で被爆された痛々しい傷痕を見せながら、様々な事をお話し下さいました。一同、大きく頷きながら、耳を傾けました。私達の青春は、戦争なくては語れない年代です。遠い昔の出来事ですが、みんな当時の事を生々しく思い出しました。

軍需工場で働いた事、友人を焼夷弾で失った事など語り出すとキリがないのですが、改めて貴い犠牲の上に今の私達が生きていることを深く心に刻みました。

この会報をお読みになっておられる若い方々にもお伝えしたいと思えます。

そのような苦難の時代を乗り越えて尚、若々しく、はつらつと生きている私達は、皆それぞれに人生を前向きに生きるヒントや知恵をいっぱい持つておられるようで、会話の中にも、ちらほら聞かれました。

楽しい時の過ぎるのは早いもので、あつと言う間にお開きとなりました。最後になりましたが、六十周年を記念して、尚和会よりお祝い金五万円を頂戴致しました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。



高校三期 京の集い

幹事 谷田 探成

一年前の東京での三期会に出席した折、偶々あいさつさせて頂いた中で、来年は久しぶりに京都でもと口を開いたとたん、ぜひにと賛成者が多くとうとう年が変わってすぐに京都での会場やら会費、日程等の準備にとりかかりました。例によって同期の幹事の方々に助けを借りて、早々から大体の出欠調査をした所、何と百名以上の出席予定との感触を得て会場も見晴らし展望抜群の二条鴨川畔に建つ「ホテルフジタ京都」に決定。



十月二十六日当日は快晴の日和に恵まれて、約百余名が関東又は海外からも定刻早めに集合して予定通りのスケジュールをこなし、久しぶりの京料理を、椅子テーブルで楽しんで頂いた。鴨川べりに東北に開いた明るい会場は大抵では一寸見当らない風景で、約三時間の集いはあつという間に過ぎてしまった。同期会にいつも思う事は、高校時代の友人はいつまでも昔を思うからか、すぐに高校時代にタイムスリップできるといふ特徴が有る反面お互いによく生き抜いてきたなあと感じさせられます。

翌日も快晴で希望者のみ約三十五名が小生知り合いの高僧が門主をしておられる「百萬遍知恩寺」にて集合。本堂にて御門主直々の物故者のご回向を頂き、有難い法話を聞かせてもらい、更に百万遍念仏で有名な大きい数珠練

りをして全員極楽往生の功德をたつぷりと味わいました。お昼は大広間にて鉄鉢弁当ともいう精進料理を頂戴して、おおいに法悦を感じてもらいました。

更に昼からはタクシーで「黒谷、金戒光明寺」へまわり執事長の挨拶、堂内、山内の案内をしてもらいました。浄土宗なのに親鸞上人の御像が祭つてあり、会津藩士の旧跡などを眺めながら解散しました。

お互いに古希も過ぎると寺院参詣も大きな意義がある事を改めて痛感したしだいです。

短期間のサイクルで 催しグルグル

高校四期 松田 祝三

私たち高四期では、在阪の思い当たる同期の人たち百名ほどに呼びかけて毎年夏の七、八月頃にサマーパーティー、十二月に忘年パーティーを、主として宝塚ホテルで開催しています。毎回おおよそ四十名前後の参加があり、定期化することで音信の輪の拡がりとともに親睦のチャンスへ期待が寄せられています。

サマーパーティーではハワイアンバンド、忘年パーティーでは内外のミュージシャンによるジャズバンドをそれぞれ招聘して軽い雰囲気を楽しむことにしていますが、既に高齢化しているといえる私たちには適度な社交の場となつて好評です。尚和会の同窓ではそれぞれの記念を機会として様々な催しが開かれています。私たちには十年、五年といったサイクルでは同期の間の情報は希薄過ぎるように思えます。サ

イクルを短期間にぐるぐる回すことができれば、みんなの消息は実にはつきりと判ってきます。年二回私達の催しにはそんなメリットもあるのです。それにもう一つ、同期同士ではあっても演出によって社交的な雰囲気味わうことで、一次的とはいえ気分は華やき、日常からの開放感に溢れ、お互いの笑顔に満たされてすこく健康的です。とりわけ女性には美容に良い効果が得られるのではないのでしょうか。

高四期の関東在住者の間では「グルメの会」が定期化していると聞きます。卒業後五十四年、全員七十二歳を越え、趣向を共にながら交流を絶やさず深め続ける——想像するだけでも幸せな思いがふつふつとってきます。



高校七期 卒業五十周年記念同期会

理事一同

卒業五十周年の節目を記念して、平成十七年十月十六日（日）午後一時か

ら、リーガロイヤルホテルにて、同期会を開催しました。

七期生は、一組から九組までの四百四十名で卒業しましたが、当日は百八名の参加者があり、大賑いでした。世話役代表・関君の開会挨拶、物故者（先生七名、同期生四十六名）への黙祷。次いで、尚和会田中会長の祝辞をいただき、恩師水田先生からも感銘深いご挨拶を頂戴しました。また乾杯の音頭は、前東京支部長・井上君にお願いしました。

食事・歓談の半ばには、同期生鈴木富美子さん（宝塚音楽学校）のご厚意に甘え、見事な歌を披露していただき、同期会に花を添えて下さいました。また全体写真及び各組毎の写真撮影では、山下真一君のお世話になりました。



お二人方、有難うございました。賑やかな歓談が続くなか、あつという間に閉会の時刻となり、夫々、まだまだ話し足りない、名残りが尽きない感じで散会しました。またの機会には更に多くの皆様と再会できることを楽しみにしています。

高校十一期 東京在住卒業生同期会

東京支部世話役一同

二〇〇五年四月二十一日（木）東京品川駅前「メルディエン・パシフィック・ホテル」において、高校十一期で東京近郊に在住している卒業生が参集して「東京支部同期会」を開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、日ごろ関西で開催される同期会に出席出来ない



方たちも含めて、総勢二十四名が集まりました。大阪からは田中尚和会会長も含め、三名が参加しました。用意された料理に舌鼓をうちながら昔話に花を咲かせました。また、各人の近況報告などに感嘆したり、健康に気をつけた生活方法などのノウハウも披露されました。

約三時間に及ぶ会合は閉演になりましたが、それでも名残つきな方たちは、別の場所へ移動していつまでも語り合ったようです。

今回が始めての試みでしたが、参加者から数年ごとに開いて欲しいとの希望もありましたので、世話役で検討する予定です。

同期会（桜会）の報告

定時制六期 中川 豊

出席された皆さん有難うございました。

昨年十一月十四日（月）午後〇時から三時、大阪弥生会館で会員五十七名中十六名が出席して「桜会」の同期会を開催しました。（高齢者の場合その日になっても欠席が出る）

前回、二〇〇三年十一月十八日（ホテルアイボリー、二十二名出席）

開会三十分前に受付に行ったところ既に二人が待っており、前回は会わなかったが誰君と誰君と名前が言えるほどハッキリと昔の面影が残っていました。

その内にどんどん集まり、何人かの固まりのなかで、ワイワイと会話がはじまり、定刻前からあちらこちらで親睦がはじまりました。

定刻に宴席がはじまり、形どおりの

セレモニーの後に「自己紹介と近況報告」を全員が行いました。出席者は昨年（二〇〇五年）を前後して「古希」ですが、寺本徹夫先生だけはクログロした頭髮なので、七十八歳とは思えない若々しい印象を得ました。

樋口嘉章先生は、「八月末から体調をくずしており退院後家庭で療養中で、みんな健康に留意されたい」との欠席のハガキを頂きました。

近況報告の要約（欠席者の返事も含む）

- ・健康にこころがけている（規則正しい生活・ウォーキングなど）
- ・ボランテニアをしている（高齢者の介護・地元の世話役など）
- ・趣味を楽しんでいる（ゴルフ・カラオケ・絵画・囲碁将棋など）
- ・コミュニケーション（いろいろな人と付き合っている心の健康を保っているなど）
- ・働いている（不定期ではあるが職業を持っているなど）

以上のとおり、生活の中にメリハリを取り入れて生きている

宴席はカラオケでは手拍子の混じる中で歌う者、そして笑いと驚きと、なごやかなムードの内に三時間が経ちました。共に過ごした学窓から五十年を迎えようとしている現在、それぞれが経験して来たものは違っていますが、今ここに集まっている時は同じ仲間だ、という気持ちで湧き上がったものと思えます。

記念写真の後に、来年（二〇〇六年）は卒業後五十周年になるので、「十一月にこの場所にて再会する」ことを全員が約束していました。

そして今年も、「生きていることすばらしさを祝い」「卒業五十周年と古希を祝い会」にしたいと思えます。むすびになります。同期会の活性化を目的とした助成金の一部をお役にたたせて頂き、本会の成功と親睦の糧となりましたことを報告し、お礼の申し上げます。

定時制第七期同窓会

幹事 速水和貴子

日時・平成十七年十一月二十三日
場所・宝塚 明月記
出席者・十五名

紅葉真つ只中第十二回「桜灯会」を雲雀ヶ丘ゴルフ場近くの小高い所にある「明日記」で開催致しました。

恩師を迎えて、卒業以来初参加の方も含めて昼食を楽しみました。不参加の方々に近況報告をお願いし



ていた所、海外へ行く人、体調不良の人と様々でしたが、当日参加の方々は種々趣味を楽しみ、現在なお仕事をしている人、ウォーキングに、ダンスの教師をと皆様ともお元気です。幹事様の参加者へのおみやげとして「皆様毎日笑っていますか？笑いは身体に良い、作り笑いでもいいのですよ」との言葉を頂き、笑いの中で次回集える事を楽しみにして散会致しました。

楽しかった同期会

高定十三期 江本 元大

同期会は、春の入園・入学式、職場異動も落ち着いた平成十七年六月四日(土)午後四時半から、千里朝日阪急ビル二十二階の緑濃き箕面の山々の景観がすばらしいチャイナテーブルを会場に行いました。

参加者は、二十一名でした。私達十三期は、二十年ほど前から毎年同期会を開催して、毎回北海道・四国をはじめ遠くから会うのを楽しみにしているメンバーもいます。

私は、久しぶりに前回参加し、学友のみんなの顔を見た時、懐かしさのあまり何か胸に熱いものが込み上げてくるような気持ちになりました。

今回も、四十年ぶりに会えて本当に懐かしい人、また、大病を患って退院の直後にもかかわらず参加した人もおり、「学友っていいなあ」としみじみ思いました。宴会は、始まった途端ワイワイガヤ

ガヤ……。その昔、お互いに昼の仕事の疲れをおして、夜学校に通った仲間同志であるがゆえの深い絆が蘇り、お世話になった先生方のこと、彼のことが彼女のことや個人のプライベートの話も飛び出し、大いに盛り上がりました。また今年も、殆どの人が六十歳定年を迎え、続けて仕事を人・しない人さまざまですが、第二の人生の節目として、夢とロマンを求めてスタートする年でもあります。これからの人生をどう生きるかといった真面目な話にも花が咲き、非常に有意義で感慨深いものになりました。

高校十六期 還暦記念誌

十六期還暦記念誌出版委員会

還暦記念誌を十六期でつくるという話が出てから、五年を経て昨年十月に出版までこぎつけました。本作りは多くの素人ばかりが担当し、字の大きさ(小さかったら読む気がしない)の設定、昔の写真の収集など難儀しました。が、十六期生に文字を書く人、デザインイラストを造る人が居て、全て手作りで本が作成できました。発送大会では、皆が感動！

先生から十四通、十六期生から五十二通、故人の思い出十七通の寄稿を得て、写真十六頁を含み百七十二頁の冊子となりました。還暦は定年退職など人生の節目であり、各自がそれぞれ思うことを書き連ねてくれました。先生からのメッセージは人生の先輩の言葉として、この年になってことさらに響きます。

十六期全員に配布し、桜塚高校と尚和会に寄付いたしました。なお残部がありますので各期の方で参考にした



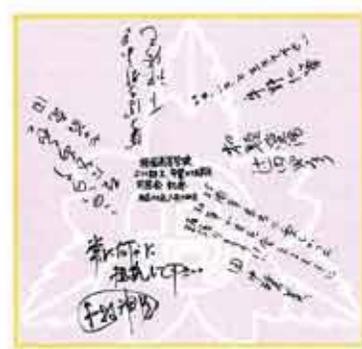
いとのこと希望がありましたら、お譲りしますのでご連絡ください。連絡先

高校三十二期 卒業二十五周年記念同期会

幹事 金井 晶子

日時・平成十七年八月十四日
会場・新大阪江坂東急イン

母校、桜塚高校を卒業して四半世紀の平成十七年八月十四日に新大阪江坂東急インにて記念の同期会を開催しました。当日はうだるような真夏の暑



25年の歳月を感じさせないほど、皆さん若くて元気いっぱいでした。次回開催は30周年？毎年して欲しいという声もありましたよ。次回の幹事さん、よろしくお願ひしますね。by AKIKO

同期会予告

高女一期生満八十一歳通過

記念同期会を開催

日時：平成十八年六月十八日(日)

十二時

会場：ホテルアイボリー

来年の七十周年にむけて元気でおい

いしましょう。

幹事 樋口由貴恵他五名

高校三期会開催予告(卒業五十五周年)

日時：平成十八年十月十九日(木)

午後一時より

会場：東京、原宿、南国酒家本館

JR山手線原宿駅より徒歩三分

程で明治神宮に隣接

会費：七、〇〇〇円

幹事 内海 順夫 長居 靖

岡田 昌子 宮本須賀子

高校八期(一九五六年卒)

卒業五十周年記念の集い 開催!!

日時：平成十八年六月三日(土)

正午開会(十一時半受付)

会場：阪急インターナショナル六階

お元気ですか。人生七十年、古来

稀なり。私達もいつの間にかこの歳

をむかえようとしています。益々の健

康と幸せを願ってお誘い合わせの上多数

の参加をお待ちしております。詳細は

名簿と共に四月にお届けしております。

不着の方は事務局までご一報下さ

い。

事務局

森田司朗

さにもかかわらず、七十四名の同期生が集まり会場は熱気であふれかえっていました。関東や東北からはもちろんのこと、異国の北京からもはるばる駆けつけてくれました。また、恩師の方もお忙しい中をご来賓賜り、宇野先生、木村先生、下沖先生、田中先生、辻内先生、原田先生にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

当日の式次第は、なぜか司会者の入場セレモニーの後、楽しく歓談のひとときを過ごしました。在学中から親交のあった人はもちろんのこと、なかった人でも楽しくうち解けてお話を出来たのは母校での三年間の時間を共有したからでしょうか。同期生とはかくも楽しいものかと改めて感じました。続いてジャンケンゲームにて景品の争奪戦が繰り広げられました。景品は幹事が仕事関係で用意したもので、エステー化学、キリン、三井生命からそれぞれ調達したものでした。さらに先生方のスピーチが始まりました。先生方のお姿は変わっていたものの、お話しただくその様子は在学中と変わらず、二十五年の時間を逆戻りしたような懐かしい感じに浸りながら楽しく拝聴しました。最後には全員で校歌を斉唱し、楽しいひとときに幕を引きました。その後は有志にて、二次会から四次会まで長い夜は熱く盛り上がりながら続きました。

なお、会場は二十四期生の岡本さんのお世話になりました。ドリンクは山村君の尽力により、飲み放題となりました。

今回は二〇一〇年に三十周年を開催する予定になっていきますので、よろしくお願いいたします。(池田紀和記)

高校十一期同期会

日時：平成十八年十一月四日(土)

十三時開宴(受付は十二時半より)

会場：新大阪江坂東急イン

会費：一〇、〇〇〇円

九月末頃に案内します。

世話役代表 古田和久

九月末頃に案内します。

高校十三期「卒業四十五周年同期会」

日時：平成十八年十月二十八日(土)

午後四時

会場：ホテル・ヴィアール大阪

(地下鉄御堂筋線・本町駅すぐ)

詳細は後日(夏ごろ)ご案内致します。

当初より使用していた大阪東急ホテルは今年三月末で閉鎖された為、場所を変えております。従来同様なつかしいひとときを持つべく、多数のご出席をお願い致します。

幹事 細川和彦

高校二十八期卒業三十周年同窓会

まだ、これから準備をする為、時間

や場所は未定ですがとりあえず

日時：平成十八年八月十二日(土)

夕刻より

場所：大阪市内のホテル

におきまして、会費は未定で、

幹事 上元一泰

で行うつもりです。

尚、詳細は、住所の判明している方

に、ハガキ等で連絡させていただきま

すのでお誘いあわせの上、御参加下さ

い。

『第五回尚和会東京支部総会・懇親会』開催のお知らせ

日時：平成十八年十二月三日(日)

場所：ホテルパシフィック東京

一階宴会場(白珠)

JR東京品川駅高輪口正面

(港区高輪三一二三三)

総会内容については検討中です。

概要決定次第お知らせします。

尚和会東京支部

支部長 斉藤良和(高校十一期)

校旗の制定について

高校十六期 吉田 圭助

昭和二十三年に男女共学になって新しく校旗を制定する必要があったと思えますが、昭和三十七年十二月現在では新しく制定・制作されていませんでした。

丁度この時の生徒自治会委員は十六期生で構成されておりましたが、自治会の行事で校旗を掲げようとしたところ校旗が無いことに気づきました。

そこで、校旗を作ろうと言うことになりましたが、大阪府教育委員会や学校によるものでなく自分たちによる制作を目指したのです。

ところが当時の自治会執行部では、制作費が不足だったので。そこで知恵を出し合って考えたのは生徒の浄財を募ることでした。その結果は必要額をオーバーするほど集まりました。勿論諸先生方の個人的なご賛同ご支援をいただいたことを申し添えます。

当時としては最高品で豊中高等学校の校旗と同じ大きさと、似通った立派な新校旗を制定・作成することがで



きました。ご存知の通り、グリーンを基調とした厚地の布地にさくらの校章が金糸の刺繍で二重に盛り上がった重厚なもので、三辺は同じく錦糸のモールで飾られており、現在も良好な保管のおかげで虫にも喰われず、美しく輝いていて、各種行事に使用されています。その後、薄手の布地の大きな応援旗が制作され使用されていますが、校旗はそのまま現在も使用されています。

お便りから

平成十七年四月から平成十八年三月までにお送り頂いたものの中から掲載しています。



最初の会
ました。現
すね。益々

会報で桜
を知り、私
二十三年の
します。私
なりました
外国の方が
海外に出か
花会の高女
かる機会が
二・三回ハ
つづけてい

毎年、総
り、心なら
致し、申し

美しい会
紙面、字体
路の写真等
編集の係の
ます。

お世話様
大きくて、
がどうぞ

WEB 版非公開

紙面が、
感じまし

尚和会
た。(二〇
い出、な
ました。ホ
祈り申し

豊中高
過ぎ喜寿
ておりま
会で多く
ございます

卒業後
送って頂
て頂いて

私達五
ました。ま
とを、祈

会報送
ました。ま
たしまし
祈ってい

尚和会
ワンサイ
読み易く
女時代の

WEB 版非公開

いました

会報あ
二期生で
又ぜひ欲
を、お知

会報あ
学路点描
街を遅刻
い出され
大変よみ

美しい
ありがと

七十歳
めて一〇
とかして

毎年五
かしく全
員の方々
り込んで

二〇〇
会にはじ
生が一八
残念!!

豊中
描なつか

WEB 版非公開

期会報告
す。

卒業五
ましたが、
でした。ホ

いつも
ます。遠
い想いで合
ます。

久しぶ
てありが
先輩の名
た。ご病
もあり、お
れしく思

会報代
発展を祈
を乞う。ト

五月十二
出席しま
を一杯聞

旧東海
オーキン
やら……

Vol.

WEB 版非公開

学時の三
淳一先生
「君の名は
知子さん
心配だ」
ました。ホ
きていこ

◎新緑
毎年と
い所が一
ンティア

心配事
老化現象
か、元氣

いつも
平成十七
記念式典
事終了致
いただき
た。

桜の季
い出しま
ね! 役
頂いて感

大変御
同期会に
ざいま

WEB 版非公開

役員の
縁と共に
居ます。

第二の
なった楽
机を並べ
く語り合
和会の登

三十八
た。心に
をエンジ

尚和会
した。私
り。体力
によりボ
思ってい
失格です

出張多
せんが、
いていま

会報あ
秋の同期
いただき
にあやか

平岡忠
も協力金

WEB 版非公開

つしゃる

サクラ
ん、お元
桜に負け

ワンサ
難うござ
迎えた私
ました(一
りしてお

会報の
を見つけ
ました。

高三十
甥っ子
ニス部で
桜塚の制
なります
か? お
入ってい
のですが

先日、
「マダム
「マドモ

先日、
ストレー
機会があ
やりとり
際に会う

WEB 版非公開

かつたで+

高三十
〇歳まで
を読んで、
四人の母の
ました。

毎年、一
すい季節に
和会報」を
エネルギー
ています。
う懐古。
豊かな余韻
トウ!
思うもの。

WEB 版非公開

平成十七年 物故者芳名

(平成17年1月1日～12月31日まで)

WEB 版非公開

山岳会OB会だより

恩師の墓参り (第八十三回の集まり)

高校三期 高谷 善雄

山岳会OB会では〇六年四月一日、故後藤藤敬直先生の七回忌に因んで福井市内の寺へ墓参りしてきました。参加したのは高谷(高三期)、三枝、山本(高十一期)、枝(高十八期)の四人でした。

福井はまだ桜が咲かず、桜が満開に近い大阪からやってくると少し寂しい思いがしましたが、念願の墓参りができて四人の心は十分満ち足り



ていました。その後、故先生がこよなく愛した長野県白馬山麓へまわり、長野市から松浦氏(高十六期)、東京都内から関野氏(旧姓渡辺 高十七期)一家が合流して、まだまだ

残雪の多い白馬山麓の夜は友を持つつという幸せいっぱい暮れていきました。

WEB 版非公開

平成十七年度 会報代・協力金
◆協力金をありがとうございました◆
(金額は納入合計額)

WEB 版非公開

平成十七年度総会・懇親会

行事委員 柳井真知子

平成十七年度の総会・懇親会は、五月十五日(日)に、ホテル・アイボリーにて、開催されました。来賓・会員合わせて、八十名の御参加を頂きました。

総会では、昨年着任されました、西郷校長先生より熱意あふれる御挨拶を頂き、又懇親会では、前々会長の谷田探成さん(高校三期)のお元氣一杯の乾杯で和やかに始まりました。



校歌斉唱



アトラクション バイオリン演奏 高32期 日々浩一氏

アトラクションの方では、高校三十二期の日比浩一さんのバイオリン演奏会で、「ヨーロッパ音楽の旅」と題して、各国の曲を演奏して下さい、又高校時代のとても楽しいエピソードに、会場は、笑いのうずなりました。アンコール曲では、「冬のソナタ」の曲を演奏して頂き、皆様、うっとりとしておりました。

今年の総会(五月二十一日)では、テレビの旅番組の「世界の車窓から」で流れる軽快なメロディーを演奏されています、アコーディオン奏者のかとうかなこさんをお招きしております。「演奏を聴いて笑顔で帰ってもらえることが、私にとって一番嬉しい」とお話しになる、とっても可愛い、かとうかなこさんです。

皆様、どうぞお楽しみに、お友達お誘い合わせて、ぜひ御参加下さいませよう、お願い致します。

平成十七年度新年理事会

行事担当副会長 中村千穂子

平成十八年一月十五日、新年理事会の日でしたが、暦の上では小正月で左義長、どんど焼の日でもあります。そこで私は少し早目に家を出て、近くの稲荷神社へお詣りし、多勢の人に囲まれてパチパチ燃えるどんど焼に、外してきた我家の注連縄も加えて一年の無事を祈ってから駅へ向かいました。

会場のヒルトンホテル四階では、受付に名札を並べると次々と理事の方が来られ、校長先生をはじめ来賓の方々五名、理事五十五名の合わせて六十名の方が御出席下さいました。

定刻の十二時に、田辺副会長の開会の辞に始まり、田中会長の挨拶、続い

て校長の西郷先生の御挨拶を頂きました。次は各委員会報告となり、広報、総務、行事、財務委員長からこの一年の活動の報告と次年度の予定が述べられ、理事会は無事終了しました。

お昼も大分過ぎ、お腹も空いてきた頃、中央部が回転する大きな円卓に料理が運ばれ、谷田元会長の乾杯の音頭で懇親会が始まったのです。

和・洋・中華といろいろな料理が次々と出て、美味しく味わいながら楽しく話が弾みました。食事もかなり進んだ頃から、豊中市会議員の北川悟司氏の司会でビンゴゲームが始まり、皆子供に返ったように真剣にカードの数字を追ううち、次々とビンゴができ、一等賞、二等賞と素敵な賞品を受け取りました。中でも羨ましかったのは、ヒルトンホテルのペアお食事券。ホテ



ルからのサービスで下さったものです。因みに私も何等かおりましたが、クッキーが当たり美味しく頂きました。最後はいつもの通り、全員で校歌斉唱して閉会となりました。

本日に同窓会というものは、何年たっても、年齢が離れていてもへ同じ心ふるさとという思いが年を重ねる程に感じられ、幸せな刻を過ごせた一日でした。

皆さん、又五月二十一日の総会でお会いしましょう。

編集後記

卒業以来四十三年。かがやけるさつき大空で始まる懐かしいあの校歌を、一日に二回唄う機会を得たのは初めてでした。母校の全日制と定時制の卒業式に来賓出席したためですが、定時制の式では中年の男女生徒や皆勤生徒もいて感動しました。

▼昨年発行の会報について、「お便りから」の中に読み易くなったとのコメントが数通あつて喜んでおります。▼昭和十二年一月(一九三七年)大阪市東成区に「大阪府立第十四高等女学校」が設置され、その四月に学級数五クラスで始業式を挙行したのが我が母校です。来年で創立七十周年を迎えるにあたり、今後とも会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。最後に、ご寄稿下さった会員、学校関係者の方々には厚く御礼申し上げます。

広報委員長 大島 光昭